

# トンネル内の 通行ルール順守

## 徳島県横断道羽ノ浦T で佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は、徳島県小松島市から阿南市地先で、「令和5年度横断道羽ノ浦トンネル舗装工事」（発注者＝国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所）の安全パトロールを実施した。石井社長のほか、堂尻伸二安全環境部長、四国支店の藤岡勝巳支店長が参加した。パトロールは、年度末労働災害予防強化期間の取り組みの一環となる。

巡視した石井社長は「路床盛土の施工では、誘導員を配置し、安全に作業していた。これから本格的にトンネル内工事に着手するが、作業帯と通行帯を明示し、トンネル内の通行ルールを皆で順守して事故防止に努めてもらいたい」と呼び掛けた。藤岡支店長は「トンネル部、明かり部とも他業者との工程調整が必要だ。打ち合



わせを密に行い、無事故・無災害で竣工するように」と要請した。羽ノ浦トンネルのある四国横断自動車道（阿南～徳島東）は四国8の字ネットワークの一部を形成するもの。四国縦貫自動車道や四国横断自動車道と連携し、四国東南部の広域交通ネットワークの形成、災害時の代替道路としての役割を担う。同工事の現場代理人は秋山和寛氏、監理技術者は岡本英司氏が務める。

